

# 道

2024・4・3

通信 No 1776



本番まで 水曜日練習 残り 7回

本日の練習 6時30分～ 岡野中 1部 清水先生 小坂先生

※同日 2時30分～ 運営委員会 於 県民サポートセンター

次週水曜日練習 4/10(水) 6時30分～ 岡野中 3部 小坂先生 二宮先生

※同日 3時00分～ 企画選曲委員会 於 県民サポートセンター

ミ  
ツ  
マ  
タ

プログラム委員会より プログラムに掲載予定の原稿です(その1)。演奏曲の理解および誤記などのチェックのため何回かに分けて掲載します。何かありましたらお知らせください。(文字が小さくてすみません)

## 山の口ザリア

フォークダンス「アレクサンドロフスキー」の名前で若者たちに踊られたロシアのワルツ。団塊の世代にとっては文化祭の校庭で踊った思い出があるかもしれない。ロシア民謡に丘灯至夫(おかしお)が作詞した。1956年に「牧場の口ザリア」の題名で発売したが当初はあまり売れなかった。1960年代になってうたごえ喫茶で歌われ始め「山の口ザリア」と改題、スリーグレイセスの歌で大ヒットを収めた。

## ロシア民謡メドレー

カチューシャ(イサコフスキイ作詞, ブランテル作曲, 中山英雄 編曲)作詞・作曲者が分かっている戦時歌謡だが「ロシア民謡」の代表格とも言ってよいほど愛唱されてきた。カチューシャが国境警備につく恋人を思って遠く離れた川岸から歌を歌うという内容になっている。日本では、「テトリス」や「熱血高校ドッジボール部」などのゲームやアニメにも使われている。～ トロイカ(ロシア民謡, 楽団カチューシャ訳詞, 中山英雄 編曲)「トロイカ」とは、三頭立ての馬車あるいは馬ぞりのこと。元の歌詞では金持ちに恋人を奪われてしまったという切ない歌だが、戦後の日本を明るくしたいと、楽団カチューシャによって♪雪の白樺並木 夕日が映える… の日本語歌詞が付けられたという。～ 泉の

ほどり(アルイモフ作詞, 井上・長沢・川尻 訳詞, ノヴィコフ作曲, 中山英雄 編曲)ロシア歌曲という物憂げなイメージが先行してしまいがちだが、この曲は、まるで東欧のポルカやスイスのヨーデルのような健康的な明るさと躍動感に満ち溢れている。40周年定期演奏会(2009)では「つけ髭」やブルーシートの「池」などを使って演奏し好評だった。～ 黒い瞳の(メルズリャコーフ作詞, 矢沢 保 訳詞, カーシン作曲, 中山英雄 編曲)日本人は青い目に憧れるが、青い目の多い国々では、黒い目に魅力を感じる人が多いようだ。とりわけロシアでは、黒い目、黒い瞳への熱い思いを語った小説や詩、歌がいくつもある。この歌や「黒い瞳」も、そうした歌のひとつ。～ 行商人(ロシア民謡, ネクラーフ作詞, 北川 剛 訳詞, 中山英雄 編曲)19世紀ロシアを代表する詩人ネクラーフが1861年に出版した長編詩「行商人」の一節に曲が付けられ、民謡として広まったもの。ロシア語の корбушка(コロボチカ)は「行商人が背負う箱」を意味している。この曲の名前は知らなくても、フォークダンスの曲といえはすぐわかるほど定番曲だ。て各地で自発的に曲が付けられた。いつしか現在の曲に収れんしたため、作曲者は不詳となっている。いかにもロシア民謡らしい哀愁に満ちたメロディは日本人にも愛されている。(続く)

\*文中、♪… は歌詞の引用